

北見市における景気動向調査報告書

< 第 III 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成24年1月19日

(2) 調査対象期間 平成23年10月～12月期実績および平成24年1月～3月期見通しについて調査した。

2. 調 査 対 象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回 収 状 況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	22社	73.3%
建 設 業	30社	25社	83.3%
卸 売 業	30社	21社	70.0%
小 売 業	35社	24社	68.6%
サービス業	25社	17社	68.0%
合 計	150社	109社	72.7%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II . 概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成23年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」27.5、「悪化企業」38.5、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△11.0となっています。このD・I値を前年同期比と比較してみると、前年同期比△23.8→今回△11.0と12.8ポイントの好転となっています。また、前期比<23年度第Ⅱ四半期>との比較では、前期△16.4→今回△11.0と5.4ポイントの好転で、前年同期比較と同様に回復傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△27.3、建設業D・I値△4.0、卸売業D・I値4.8、小売業D・I値4.2、サービス業D・I値△41.1となっており、前年同期調査と比較すると建設業で61.3、小売業で34.6、卸売業で9.6ポイントの好転となっており、卸売業・小売業では前年マイナスだったD・I値がプラスに転じる結果となりました。一方で、製造業で35.6、サービス業で13.4ポイントの悪化傾向を示しており、製造業ではD・I値がプラスからマイナスに転じるなど、業種によって明暗の分かれる結果となりました。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」15.6%「悪化企業」36.7%でD・I値△21.1と、前年同期(△40.4)と比べ19.3ポイント好転となっていますがD・I値は未だマイナスであり、予断を許さない来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」27.3%、「減少企業」31.8%、D・I値△4.5と前年同期とほぼ横ばいで推移しています。

採 算

前年比で「好転企業」27.2%、「悪化企業」36.4%、D・I値△9.2と前年同期に比べ13.3ポイントの悪化を示し、D・I値がプラスからマイナスに転じる結果となりました。

来期見通し

業況D・I値△27.3、生産高D・I値△22.7、資金繰りD・I値△13.7と、資金繰りでやや好転したものの、業況・生産高では悪化傾向を示し、厳しい来期見通しとなっています。

2) 建設業

完成工事高

前年比で「増加企業」32.0%、「減少企業」36.0%、D・I値△4.0と前年同期に比べ61.3ポイントの大幅な好転を示しており、D・I値は未だマイナス値ではあるものの、前年から改善が見られました。

採算

前年比で「好転企業」32.0%、「悪化企業」32.0% D・I値0と前年同期に比べ60.9ポイントの大幅な好転を示しています。

来期見通し

業況D・I値△16.0、完成工事高D・I値△24.0、資金繰りD・I値△16.0と前年同期に比べ全てのD・I値で50ポイント前後の大幅な好転傾向を示しており、前年の高いマイナス値から回復が見られました。

3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」47.6%「減少企業」28.6%、D・I値19.0と前年同期に比べ28.5ポイント好転傾向を示し、D・I値がマイナスからプラスに転じる結果となりました。

採算

前年比で「好転企業」19.0%、「悪化企業」38.1%、D・I値△19.1と前年同期に比べ24.1ポイントの悪化傾向を示し、売上高とは反対に厳しい結果となりました。

来期見通し

業況D・I値△14.3、売上高D・I値△4.8、資金繰りD・I値△4.7と前年同期に比べ、資金繰りは横ばいとなったものの、業況・売上高では好転傾向を示しました。

4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」29.2%「減少企業」33.3%、D・I値△4.1と前年同期と比べて21.9ポイント好転傾向を示しています。

採算

前年比で「好転企業」21.8%「悪化企業」39.1%、D・I値△17.3と前年同期と比べて4.4ポイントの好転傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△16.6、売上高D・I値△12.5、資金繰りD・I値△16.6と、前年同期と比べ、全て大幅な好転傾向を示しました。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」17.6%、「減少企業」53.0%、D・I値△35.4と前年同期と比べ24.3ポイントの大幅な悪化傾向を示しています。

採算

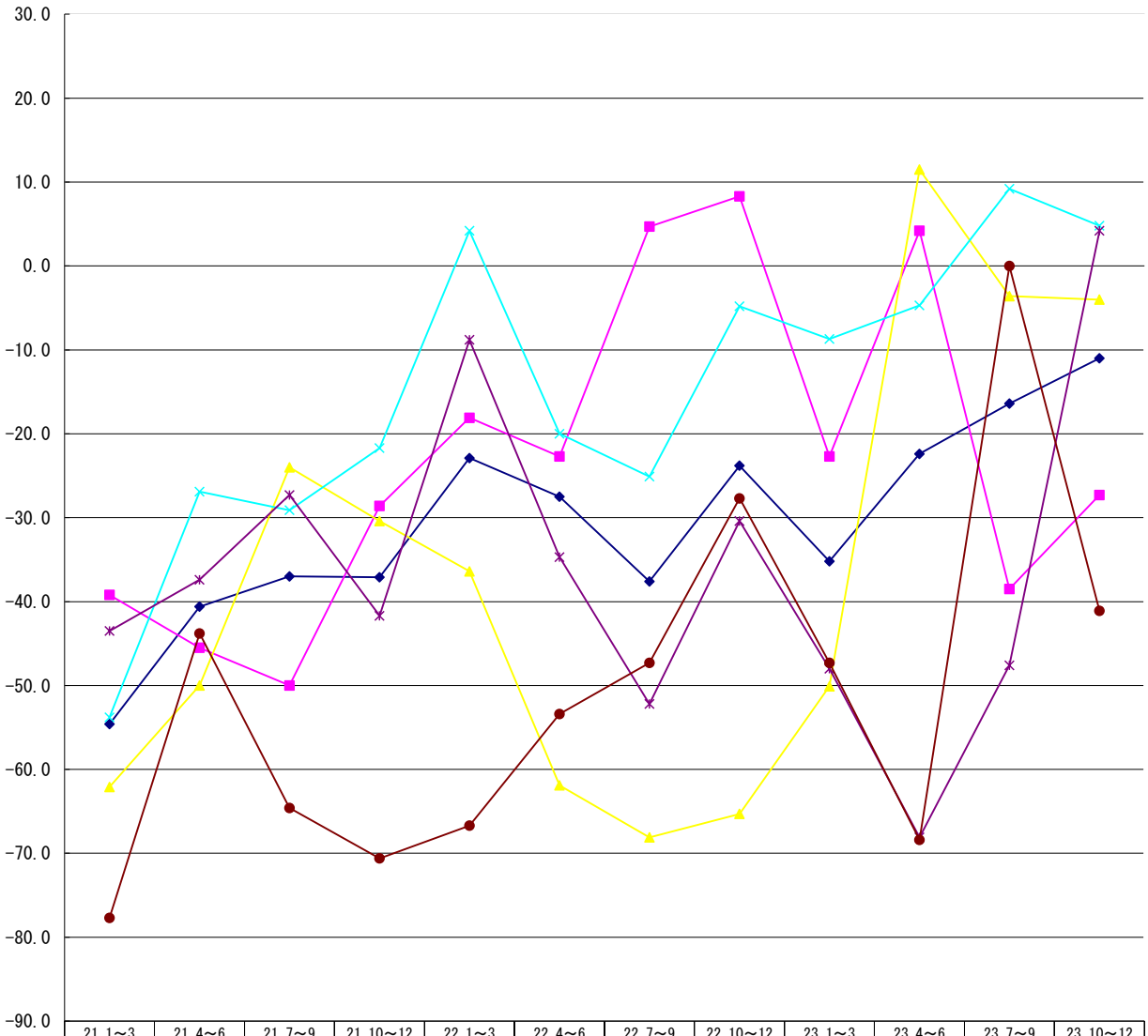
前年比で「好転企業」11.8%、「悪化企業」64.7%、D・I値△52.9と前年同期と比べ30.7ポイントの大幅な悪化を示し、マイナス値も高く、厳しい結果となりました。

来期見通し

業況D・I値△35.2、売上高D・I値△41.1、資金繰りD・I値△41.1と前年同期と比べ、業況で好転を示し、売上高は横ばいとなっているものの、マイナス値は高く、また資金繰りは悪化しており、厳しい来期見通しとなっています。

業況（前年同期比）

◆ 全業種
 ■ 製造業
 ▲ 建設業
 × 卸売業
 ✱ 小売業
 ● サービス業



	21. 1~3 20年度IV	21. 4~6 21年度I	21. 7~9 21年度II	21. 10~12 21年度III	22. 1~3 21年度IV	22. 4~6 22年度I	22. 7~9 22年度II	22. 10~12 22年度III	23. 1~3 22年度IV	23. 4~6 23年度I	23. 7~9 23年度II	23. 10~12 23年度III
◆ 全業種	-54.6	-40.6	-37.0	-37.1	-22.9	-27.5	-37.6	-23.8	-35.2	-22.4	-16.4	-11.0
■ 製造業	-39.2	-45.5	-50.0	-28.6	-18.1	-22.7	4.7	8.3	-22.7	4.2	-38.5	-27.3
▲ 建設業	-62.1	-50.0	-24.0	-30.4	-36.4	-61.9	-68.1	-65.3	-50.1	11.5	-3.6	-4.0
×	-53.8	-26.9	-29.1	-21.7	4.2	-20.0	-25.1	-4.8	-8.7	-4.7	9.2	4.8
✱ 小売業	-43.5	-37.4	-27.3	-41.7	-8.8	-34.7	-52.2	-30.4	-48.0	-68.1	-47.6	4.2
● サービス業	-77.7	-43.8	-64.6	-70.6	-66.7	-53.4	-47.3	-27.7	-47.3	-68.4	0.0	-41.1

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 材 不 足	人 件 費 増
建 設 業	諸 経 費 増	同業者間の競合	得 意 先 減 少	人 材 不 足	人 件 費 増
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売 掛 金 回 収 難
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
サービス業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 件 費 増	人 材 不 足
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

経営上の問題点における回答数のトップは「同業者間の競合」で、前年同期調査と同じ結果となった。2位～5位までも順位に変動がなく、市内事業所にとって慢性的な課題になっていることが伺える。また、小売業では1～4位まで、サービス業では全て前年同期調査と同じ結果となっている。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

(建設) ○公共事業の減少 (土木)

(卸売) ○高齢化によって職人等人材が不足しており、商品水準低下。(鉄工)

○福島原発事故の影響で北海道米しか売れない。原料が高く利益がとれない (米穀)

○同業者の出店 (作業服・事務服)

○異業種との競合も増えてきている (医療・介護福祉機器)

○TPP 交渉参加表明による影響を懸念している (種苗・肥料・農薬農業資材)

○適正な販売価格の破壊 (石油製品)

業況

※太字アンダーラインは重複該当

- 製造業 ⇒ 好転（重複該当なし、ビール製造、木材チップ、木製建具・家具）
悪化（なし）
- 建設業 ⇒ 好転（電気、土木建築、住宅建築、内線工事、板金、
一般土木・給排水・衛生・暖冷房）
悪化（建築、土木・とび土工、管土木）
- 卸売業 ⇒ 好転（重複該当なし、製菓原材料機器、製材、化粧品・理美容器具、塗料、
三月人形・菓子・玩具、石油製品）
悪化（重複該当なし、青果物委託販売）
- 小売業 ⇒ 好転（自動車、菓子、衣料品）
悪化（重複該当なし、画材）
- サービス業 ⇒ 好転（重複該当なし、ビルメンテナンス、自動車賃貸、IT）
悪化（飲食、ホテル（宿泊）、クリーニング、建物清掃、理容、理美容）